

---

---

## 令和元年度 第70回全日本中学校長会研究協議会 群馬大会

～未来創造！ 共に歩みだそう ふじのくにから～

新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育

---

---

令和元年10月24日(木)25日(金)の2日間、「新たな時代を切り拓く人づくり 東国文化発祥の地 群馬から」の大会スローガンのもと、第70回全日本中学校長会研究協議会群馬大会がベイシア文化ホールを主会場に開催されました。

### 【大会日程】

#### 10月24日(木)

##### ○開会式(9:30～10:20)

###### ◇大会会長 全日本中学校長会 川越豊彦 会長挨拶 (要旨)

今の子どもたちが大人になって活躍する社会は、今と大きく異なっていると考えられる。そのような予測困難で変化の激しい社会にあっても、子どもたちが変化の中からチャンスを見つけ、活躍することができるような資質・能力を身に付けさせることが教育に期待されている。子供たちに必要とされる資質・能力を身に付けさせることができるように、教師にも変換し続ける社会に的確に対応できるように、必要な資質・能力を身に付けることが求められている。技術革新によってもたらされたシステムや環境などを私たちが質の高い教育活動を行うための支援ツールとして活用し、子供たちに明るい未来社会を創生する力を身に付けさせることが、学校と全日本中学校長会に課せられた使命である。

###### ◇大会実行委員長 綿貫知明 群馬県中学校長会会長 挨拶

◇祝辞 文部科学大臣 萩生田 光 一 氏 (代理 大臣官房審議官 矢野和彦 氏)  
群馬県知事 山本 一 太 氏 (代理 群馬県教育長 笠原 寛 氏)  
前橋市長 山本 龍 氏

##### ○文部科学省説明(10:30～11:20)

###### 「当面する初等中等教育上の諸課題」(要旨)

文部科学大臣官房審議官 初等中等教育局担当 矢野 和彦 氏  
平成28年に行った勤務実態調査によると、授業や成績処理、部活動指導等の本務の時間が増えていた。働き方改革のためには、学校及び教師が担う業務の明確化、適正化が必要で、必ずしも教師が担う必要のない業務、教師の業務だが負担軽減が可能な業務などを大胆に仕分けした。やはり何を選択して何を捨てていくか、何が軽減できるかということをやほどの覚悟を持って臨まないといけない。働き方改革には特効薬はない、そのような気持ちで働き方改革を進めていく。1か月の在校等時間は超過勤務45時間以内、1年間では360時間以内をガイドラインとして令和元年1月に通知済である。

もう一つの方策として、変形労働時間制の導入である。子供たちにひらめきを伝えるために、先生方も新たな知識なり教養なり新たな経験なりを、余裕のある時期に取り組みやすいようにした。しかもこれは、あくまで各都道府県や市町村教育委員会、学校の判断によるという選択制による導入である。学校現場の実態に合わせて採用するかどうかを、学校や教育委員会の選択に委ねたい。

新学習指導要領の小中高等学校共通のポイントとして、情報活用能力を言語能力と同様に学習の基盤となる資質・能力と位置づけられている。そして、ICTを学校に広めるのは市町村教育委員会の責務である。必要なICT環境については、最終的に児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち十分に活用できる環境を実現することである。

○全体協議会(11:25～12:20)

〔第1研究協議題(全日本中提案)〕 全日本中学校長会 生徒指導部長 苗木啓介

全日中教育ビジョンに基づく学校からの教育改革～いじめ問題による自殺根絶に向けての提言～

◇いじめ問題を背景とする自殺を根絶するための7つの提言

- ①学校・家庭・地域社会の責任分担の明確化と連携強化
- ②指導の困難な課題を抱える学校への行政支援
- ③道徳教育の推進による「心の教育」の充実
- ④目的を明確にした体験活動の一層の推進
- ⑤社会変化に対応した迅速・適切な指導
- ⑥外部の専門家を活用した生徒指導の充実といじめを許さない学校づくりの徹底
- ⑦コミュニケーション能力の育成

〔第2研究協議題(地区提案)〕

島根県出雲市立第二中学校長 伊藤成二

「明日も行きたい」と思える学校を目指して～『自分株』を磨き『学校株』を高める活動を通して～

◇私の校長としてのビジョンは2つあり、「地域の願いに応える人づくりと学校経営の実践」と、「地域の文化拠点としての中学校の構築」である。そのための一つとして、教職員のベクトルを合わせることであり校長として当たり前のこと。「①享も来てよかったと思える学校」、「②仲間がいて共に高め合える学校」、「③明日も行きたいと思える学校」が学校経営の目標。その具現化のためのキャッチフレーズを『自分株』を磨き『学校株』を高める」としている。『自分株』『学校株』は造語で、頑張りの積み重ねが信用を高めて株を上昇させ、逆に株を下げるのは一瞬であることを理解伝えていく。

また方策の一つとして「3つの汗(体にかく汗、頭にかく汗、心にかく汗)を惜しまない生徒」を掲げ、何事にも一生懸命に取り組んでほしいという願い。もう一つの方策が「3C」で、Chance、Challenge、Change。「あらゆるチャンスを見逃さず」、「果敢に挑戦し」、「自らの成長につなげてほしい」との願い。

これらを生徒に伝えながら、教職員の共有化を図っている。

○分科会(13:45～16:45)

- 第1分科会 「カリキュラム・マネジメント」の推進
- 第2分科会 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 第3分科会 よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実
- 第4分科会 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実
- 第5分科会 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実
- 第6分科会 自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実
- 第7分科会 多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成
- 第8分科会 学校と地域の連携・協力による「チーム学校」の実現

10月22日(金)

○アトラクション(9:15～9:40)

伊勢崎市立第三中学校ギターマンドリン部・合唱団

○全体会(9:50～10:10)

大会宣言決議

○記念講演(10:20～11:50)

「自己点検のススメ」 作家 横山秀夫氏

○閉会式(12:00～12:25)

【分科会一覧】

分科会	地区	研究題	発表題	司会者	提案者
1	関東甲信越	「カリキュラム・マネジメント」の推進	コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進を通して	野口 浩之 (群馬) 藤岡市立鬼石中学校	吉崎 仁 (群馬) 藤岡市立小野中学校
			支援教育の視点から人との触れあいを大切にする教育活動の充実を目指して	見城 俊夫 (神奈川) 相模原市立谷口中学校	上西 雅己 (神奈川) 相模原市立新町中学校
2	中国	「主体的・対話的で深い学び」の実現	協働的な学びを通して育てる学力と人間力	藤原 建 (鳥取) 米子市立福来中学校	山本 泰 (鳥取) 伯耆町立溝口中学校
			論理的に思考し表現する力を育成する教育課程の在り方	小寺 和宏 (広島) 福山市立大成館中学校	藤田由美子 (広島) 福山市立鷹取中学校
3	北海道	よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実	もごごとを多面的・多角的に考え、生き方についての考えを深める道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成	福澤 秀 (北海道) 富良野市立樹海中学校	大角 勝之 (北海道) 富良野市立麓郷中学校
			他の教育活動・働き方改革との関連を重視した道徳教育	加賀 誠 (北海道) 枝幸町立枝幸中学校	塩崎 由雄 (北海道) 稚内市立塩見が丘中学校
4	近畿	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	「かけがえのないいのち」を守りきる、安心・安全な学校づくりを目指して	高井 敬祐 (京都) 京都市立伏見中学校	西田 育世 (京都) 京都市立高野中学校
			小中連携による体力向上の取組	林 幸二 (兵庫) 尼崎市立大庄中学校	長田 光司 (兵庫) 尼崎市立兵庫東中学校
5	九州	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	教育活動全体を通じた組織的・計画的な進路指導の充実	古田 利也 (熊本) 芦北町立湯浦中学校	畑口 益喜 (熊本) 芦北町立田浦中学校
			「竹田郷土学」を柱に据えた、教育活動全体を通じた基礎的・汎用的能力の育成	河野 義文 (大分) 竹田市立緑が丘中学校	渡邊 文也 (大分) 竹田市立久住中学校
6	四国	自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実	小さな成功体験を通じて未来を切り拓く生徒の育成	高橋 敬治 (徳島) 吉野川市立山川中学校	三木 俊彦 (徳島) 吉野川市立鶴島東中学校
			みんなが学校を創る主人公に	佐賀 厚幸 (高知) 仁淀川町立池川中学校	北澤 靖裕 (高知) いの町立神谷小中学校
7	東海 北陸	多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成	生徒や保護者・地域の信頼に応えられる教員の育成と研修の在り方	白江日呂雄 (富山) 高岡市立南星中学校	山森 義人 (富山) 高岡市立戸出中学校
			東海市校長会と市教育委員会との連携による人材育成の取組	栗本 弘太 (愛知) 知多市立八幡中学校	浜島 研一 (愛知) 東海市立名和中学校
8	東北	学校と地域の連携・協力による「チーム学校」の実現	復興・防災教育の実践と校長のリーダーシップ	多田 喜夫 (岩手) 大船渡市立末崎中学校	村上 誠 (岩手) 大船渡市立吉浜中学校
			ミドルの職能成長と専門スタッフとの協働・連携推進による課題解決	渋谷 和久 (山形) 山形市立金井中学校	草刈 竹司 (山形) 山形市立第九中学校